

2024年5月期 第2四半期 決算説明会 主な質問と回答

「主な質問と回答」は、決算説明会に出席になれなかった方々の便宜のため、参考として掲載しています。内容につきましては、ご理解いただきやすいよう簡潔にまとめたものであることをご了承ください。

Q1 ファクトリアル社のM&Aについて、売上にしてどの程度の押し上げ効果がありますか。また、のれん負けすることはないのでしょうか。

A1 通期の売上では、1億円～2億円程度の増加の影響を見込んでおります。Modeloy案件を積極的に共同展開し、売上高を伸ばす予定です。買収価格については、ファクトリアル社の営業利益に対して適切に設定しており、のれん負けが生じない範囲で設定しております。詳細につきましては今後、監査法人との議論を通じて確定する予定です。

Q2 キャッシュフローを拝見するとキャッシュが潤沢にあるにもかかわらず、今回のM&Aも借入れで実行されています。今後このキャッシュの使い道を教えてください。

A2 現在、約17億円の資産の内、約14億円のキャッシュを保有していますが、今後も当社と親和性の高い企業のM&Aを複数実行していく予定であり、キャッシュの水準は維持しておきたいと考えております。さらに財務戦略として、今回のように借入を利用することでレバレッジをかけ、資本効率を高めていきたいと考えております。具体的には、Webアプリケーション開発や、AI開発、システム開発等の事業会社を中心に案件を積極的に探しております。

Q3 第2四半期累計で、通期計画に対して営業利益の進捗率が71%と高い水準ですが、上方修正しない理由を教えてください。

A3 25年5月期以降の事業拡大を見据え、下期も引き続き人材採用を中心に投資を強化するため、通期業績予想は据え置いております。
主な採用予定の人材は2024年5月期第2四半期決算説明資料p26記載の通り、テクノロジー系の人材（エンジニア、データサイエンティスト、プロジェクト・マネージャー）を予定しており、Modeloy（AI/DXソリューション）に係る人材は優先度を上げて採用を実施していく方針です。
足元でも採用状況は好調に推移しております。

Q4 Modeloy事業が大きく伸びている要因を教えてください

A4 Modeloy（AI/DXソリューション）事業が好調な要因としては、AI/DX人材育成の次のステップとなる実運用のフェーズを検討、移行される顧客企業が多く、Modeloy事業の需要が強いことがあげられます。
更に、Modeloy事業の特徴でもある顧客企業のコア領域を扱うプロジェクトの受注が多い傾向にあり、高付加価値なプロジェクト提供や、既存案件の大型化などからプロジェクトの単価が上昇しております。
また、Aidemy Businessからのクロスセルではなく、新規でのModeloy案件獲得もできており、事業成長の要因であると考えております。

Q5 AIモデルの開発とは具体的にどのようなことをしていますか。

A5 一例として、化学メーカーや素材メーカー向けに提供する画像解析モデルの開発や、データサイエンス領域の案件がございます。
昨今では、研究開発向けだけでなく、市場調査の効率化など経営企画に対するAIやデータサイエンス領域の案件もございます。

Q6 Aidemy Business（オンラインDXラーニング）が第2四半期では堅調に成長した要因を教えてください。

A6 第1四半期はコロナが落ち着いてきたこともあり、リアルへの回帰が急速にみ、一時的にオンラインサービスに対する需要が減少したと考えております。一方で第2四半期以降は、リアルとオンラインの可処分時間のバランスがある程度一定となってきたため、再度オンラインサービスの有用性が見直されたと推察しております。

こうした中で、**当社はAidemy Business（オンラインDXラーニング）による学習、Aidemy Practiceによるリアル研修も提供しており、AI/DX人材育成のニーズは引き続き高い傾向**にあります。

当社のミッションである「先端技術を、経済実装する。」に基づき、**ニーズに即したAI/DXに特化した新規コンテンツ開発や、DSAT（デジタルスキルのアセスメントテスト）の開発で差別化を図っている点**もプラス成長の要因であると考えております。

Q7 23年5月期第2四半期累計と比較して広告宣伝費が減少しておりますが、今後の見通しとしてはどの程度費用を要する見込みですか。

A7 24年5月期の下期は、広告宣伝費に大きく投資することは考えておらず上期並の水準を想定しております。**2023年6月の東証グロース市場への上場により、認知度が向上**したことから、来期以降も広告宣伝費に大きく投資することは現時点では考えておりません。